



EIGRP の設定

EIGRP をイネーブルにして、EIGRP ルーティング プロセスを作成するには、このタスクを実行します。EIGRP は指定されたネットワーク内のインターフェイスにアップデートを送信します。インターフェイスのネットワークを指定しなかった場合は、そのインターフェイスが EIGRP アップデートでアドバタイズされません。

`router eigrp autonomous-system-number` コマンドを設定すると、EIGRP の自律システム設定が作成され、ルーティング情報のタグgingに使用される EIGRP ルーティングインスタンスが作成されます。

```
enable
configure terminal
router eigrp <autonomous-system-number>
network <network-number>
end
```

EIGRP の設定の詳細については、「[How to Configure EIGRP](#)」を参照してください。

- [EIGRP の機能 \(1 ページ\)](#)
- [EIGRP の設定方法 \(2 ページ\)](#)

EIGRP の機能

- ネットワーク規模の拡大：IP Routing Information Protocol (RIP) では、自分のネットワークで可能な最大規模が 15 ホップです。EIGRP がイネーブルになっている場合、可能な最大規模は 100 ホップに増えます。また、EIGRP のメトリックは十分に大きいため、数千ホップをサポートできます。
- 高速コンバージェンス：DUAL アルゴリズムにより、現在利用可能なルーティング プロトコルと同様にルーティング情報を迅速にコンバートできます。
- 部分アップデート：宛先の状態が変化した場合、EIGRP は、ルーティングテーブルの内容全体を送信するのではなく、差分アップデートを送信します。この機能により、EIGRP パケットに必要な帯域幅が最小限に抑えられます。
- ネイバー探索メカニズム：この簡単なプロトコルに依存しない hello メカニズムが、隣接デバイスの学習に使用されます。

- スケーリング : EIGRP は大規模なネットワークに合わせて拡張します。

詳細については、「[Information About Configuring EIGRP](#)」を参照してください。

EIGRP の設定方法

EIGRP の設定

EIGRP をイネーブルにして、EIGRP ルーティング プロセスを作成するには、このタスクを実行します。EIGRP は指定されたネットワーク内のインターフェイスにアップデートを送信します。インターフェイスのネットワークを指定しなかった場合は、そのインターフェイスが EIGRP アップデートでアドバタイズされません。

`router eigrp autonomous-system-number` コマンドを設定すると、EIGRP の自律システム設定が作成され、ルーティング情報のタギングに使用される EIGRP ルーティングインスタンスが作成されます。

```
enable
configure terminal
router eigrp <autonomous-system-number>
network <network-number>
end
```

EIGRP の設定の詳細については、「[How to Configure EIGRP](#)」を参照してください。

EIGRP の設定例

「[Configuration Examples for EIGRP](#)」で説明されている例を参照してください。